

**普遍教育科目「ローカル・プロジェクト実習A」A3**  
**『地域と地元企業の連携を考える～山武杉プロジェクト～』**  
(担当教員:コミュニティ・イノベーションオフィス特任助教 田島翔太)

## テーマ

『地域と地元企業の連携を考える～山武杉プロジェクト～』

## 背景と目的

千葉県には山武杉と呼ばれる県産材ブランドがあります。山武杉は、硬さ、色合い、地産地消の観点から長く建材として重宝されてきましたが、近年では林業の高齢化や後継者不足、溝腐病の蔓延などで活用が減っています。その結果、山林が荒廃し、地域の産業が衰退し、市場に流通する山武杉が減ることでさらに活用の機会が減るという負のスパイラルに陥っています。

そのような中、千葉大学では東松戸にある地元企業と産学連携で「山武杉を活用した地産地消の家づくり」の研究を始めました。山武杉を建築資材として積極的に使用することで流通量を確保し、千葉県内の資源循環による地産地消の家づくりを目指しています。

本授業は、地方創生の視点から、山武杉の活用を通して、地域と地元企業がどのように関わっているかを学ぶことを目的とします。



## 課題

### (1) 山武杉のブランド化を考える

国内の林業の状況や、地域の工務店や地元企業が直面する課題を学びます。そして、山武杉について知り、そのブランド化(価値を地域住民に知ってもらうための方策)を考えます。

### (2) 地域住民向けのイベントを考える

1で検討した方策に基づき、株式会社大功が毎年開催している地域住民向けのイベント「感謝祭」で、千葉大学のブースを出展します。イベントを通じて、地域と地元企業のあり方を学びます。

## スケジュール

以上の2点について、履修者がチームで検討し、発表します。具体的な流れ・スケジュールは以下の通りです。

①ガイダンス @総合校舎G4-54 2018年4月24日、25日、26日 12:30～12:40

履修を検討している学生にガイダンスを実施します。

②事前の勉強会 @西千葉キャンパス(予定) 2018年5月中

履修者で集まり、課題に関する事前学習をおこないます。日時は履修者と相談し決定します。

③チームで検討、現地視察、ヒアリング等 2018年6月～9月

履修者同士で検討を進めます。途中3回程度、教員を交えたゼミを予定しています。

必要に応じて、山武杉の調査や、株式会社大功へのヒアリング、中間報告、地域活動への参加を実施します。

④感謝祭での出店 @株式会社大功本社(東松戸) 2018年10月第3週土曜日(予定)

## 成果物

1. イベント企画書(国内の森林、山武杉、地元企業の状況などを含める)。企画書のつくり方は授業で指導します。
2. イベントの運営
3. レポート(イベント終了時に簡単なレポートを作成します)

## 授業を通して学べること・得られるスキル等

- ・千葉県森林資源や林業についての知識
- ・実務者との協働によるプレゼンテーションやコミュニケーションスキル

## 履修方法

希望者は、氏名、学部・学科、学年、学籍番号、連絡先(千葉大のメールアドレス)を明記の上、担当教員までメールで申請してください。

5月11日(金)17時まで受け付けます。

コミュニティ・イノベーションオフィス特任助教 田島翔太宛

[shota.tajima@chiba-u.jp](mailto:shota.tajima@chiba-u.jp)

## その他

履修にあたり、ポータルでの登録はしないようにしてください。終了後に教員が成績登録します。成績は、「合否」のみの判定となります。